



投票率向上に向けた施策

布田 恵美



**問** 今回の市長選及び県議補選の投票率を、どのように分析しているのか。

**選挙管理委員会委員長** 同日執行により市民の関心も高く、高い投票率につながったと分析しています。

**問** 選挙運動用ポスター掲示場は現在126カ所だが、中には公道から下がっており掲示作業に難儀する箇所も見受けられる。見やすさ、掲示作業の安全確保の観点から、対応策を考えるべきではないか。

**選挙管理委員会事務局長** 地権者の了解を得て設置していますが、一部ポスターが貼りづらい箇所があったと認識していますので、今後十分留意したいと考えます。

**問** 沿岸部は震災後、住宅移転もあり、ポスター掲示場が少なくなっている。通行車両の多い沿岸道路沿いへの設置を考慮することにより、選挙実施の告知にもつながるのではないか。

**選挙管理委員会事務局長** 有権者への周知に効果的な設置場所となるよう、引き続き検討していきます。

掲示一覧表に通し番号を

**問** 選管が公表する掲示場一覧地図は、スマホ・タブレット表示も可能になり利便性向上の反面、不慣れな方もいる。掲示場一覧と符合するナンバリング（通し番号）があると、作業を進めながら突合し確認が可能となり、選挙応援に関わる市民の方からも復活を望む声がある。ぜひ、検討してほしい。

**選挙管理委員会事務局長** 管理面で不要と判断しましたが、候補者、作業する方の利便性を考慮し、今後検討していきます。

**問** 若年層の選挙事務登用や選挙割なども投票率向上への一助を果たしていたと考えるが、市長の考えはどうか。

**市長** 地道ですが、選挙割、投票記念撮影パネル設置など、小さな部分の積み重ねと有権者の教育が投票率向上につながっていくと思います。

◎その他の一般質問  
・市民の文化・芸術振興と次世代育成支援



岩沼市の水道事業

酒井 信幸



**問** 水道事業経営戦略の策定に当たり、岩沼市水道委員会に対し、水道事業経営戦略案を諮問した。委員会から3項目の付帯意見があった。水道水を安定的に供給し、水道事業を将来にわたり持続させるため、適切な施設更新の継続や災害に備えての耐震化を推進することを求めている。玉崎浄水場施設の継続について伺う。

**上下水道部長** 現時点では正常に機能しており、不具合もないことから、整備の更新を行いつつ継続していきます。

**問** 水道事業の効率化や事業の広域連携を考えているのか。

**経営企画課長** 下水道課と水道事業所を上下水道部として統合し、事務事業の効率化を図りました。広域連携については、県と市町村で構成する水道事業広域連携検討会で、水道事業の広域化や共同化について検討しています。

**問** 給水人口の減少に伴い配水量も減少すると見込まれる。財源が不足するような場合は、水道料金の改定を検討するのか。

**上下水道部長** 中長期的な財務シミュレーションを行っていますが、将来的に財源不足が予測されます。改めて事業の効率化や事業の改善を徹底した上で、料金改定の可否について検討します。

**問** 岩沼市の水道料金が高いと言われるが、県内の自治体と比べて何番目となっているのか。

**経営企画課長** 県内35市町村のうち、岩沼市は一般的な口径で試算した場合、県内で5番目に安い料金になっています。

**検証を行い十分な説明を**

**問** 水道料金の改定は、市民生活に大きな影響を与える。改定する場合は慎重に検証し、十分な説明を行い市民の理解が得られるようにとの付帯意見があったが見解を伺う。

**市長** 事業の効率化、業務の改善を徹底して行い、将来的に費用と収益が逆転する想定もあることから、料金体系を慎重に検証し、市民の理解が得られるよう十分な説明を行いたいと考えます。

◎その他の一般質問  
・市民の文化・芸術振興と次世代育成支援